日

(上)は、正)を変し、大衆に傳へるため近く第四代の、能度で、天大衆に傳へるため近く第四次のと親に政際を解析し、新聞のと親に政際を解析した。 西京教院園 (1974年間間) 東西外交管院の開業によれば、東京教院園

急招集令一殺した日夜全國各地にある中央執監委員に對し緊日夜全國各地にある中央執監委員に對し緊

劉湘南下す

斯と重要協議

【上海七日同盟二軍巡鄉長同鄉飲

央執監全體會議を繰上げて招集するこ

國論統

に躍起

軍部の强硬態度に (日) 月八月八 子り 夕 古古春見人行登明報 介之三川小人 日 日 日丁一學平太宗城高 杜祖日文宗、社会安全 所行母 名をもつて国々と日建院に軍事費 在何同胞

くらつく

交通部員は早くも上海に逃避

部上海の外人銀行に移されてしまつた、順然場がた、また政府要人等の預金は殆んご全場がた、また政府要人等の預金は殆んご全場をといい南京政府部内の動搖は益々深刻と 石は全國軍人頭議を正式開館すれば多数をもつて即時間戦の決議

心すこぶる 不満で或は口質をもうけて、京かたちだが、南京に於ては手も足も出す内がたちだが、南京に於ては手も足も出す内 を引揚げるかも知れないどいはれてゐる かたちだが、南京に於ては手も足も出す特人決職の必要を説かれ至くあてはずれ 幽歌を歌のてある、白崇唱は蔣介石や 何應飲からに引持り込まれるのを愛問し節歌を延ばして歌ら谷首歌を断形的

重論に崇られた

近く第四次全體會議招集

【上海七日同盟」漢ロより公地省 漢口居留民

遊への確報によれば、漢口引得低 後の居留民五百名は田陽丸で銀版 〇〇〇隊及び〇〇隊は支統例に對 平總領事代班以下總領事館以、第 は全部引揚げた部である。なに松 出れ、上海に向つて下江の途に配 〇〇に護備され七日午後五師漢口 た。これを以て我が漢口居団民

【上海七日開盟】川越大使は七日【送にも民産があるので輸出能力と一毛であるが顕宝省では総花に上学 川越大使語る

際に合同することとなった

次に輸入を許可しその他には高度

金融を定め

金頭送の原度から大陸権人し得る | 棚職人は既に一千萬帝を超えて居

緊急 を要する物品から難 あるので細胞物、毛鼬動樹川は破

り、羊毛の様人も密しく増加して

の観醒を設けようと云ふのである

現代をはかることとなった。即も一従って差し苦り制限の財象と云る手段として趣え急速に個人制配の「の報要を吊げようとはよのである 我が開始或の現情とりすれば並取。と見られてゐるものは孤花及ひ羊。機化をはかること、なつた、面も一後つて差し寄り制限の對象と立る。

丁を待つて下江する野 する刑界その他の保管を記事務終

プラチルの同般に耐人或に関索の「うことになった」ですチルの同般に耐力の変化を辿って 継承して大本院に戦争戦闘に発出する。今年 継承として大本院に戦争戦闘に発出する。 ウロ市日本人流は近く沙魚り定を 事館に申込んでゐるが、その金頭 の如くこの も既に数十国に達してどりサンバ

の就金をサンベウロを在所機能額、午後十時通信記者職と問見し、左

額々献金

してるるやうに思はれるが私と 的形勢は既々危局に向つて進展 日支の時間は益々重大化し客観 吸り歪鹿に努力したいと考へてしては最後まで自分の力の及ぶ

南支引揚げ第

船

設場邦法院の更生に購するもの

10 10 H Q

.0

米絹總罷業

九日を引

於ける戦闘有財産、公有財産と共、上三名であるが、これらまでした。 上海工場を初め三井物企画ロ支店工時十分投層部に入港したが顕紡 官員などよりお局の命令による引の三家族など長江脈が市で取り、 【長崎電話】本格的影響が人を楽

近いでで、かられたのでは、これである。同様で避難者らしいる。 ではが異常は確然用に寒のられ、わたとしるを見せて日道行動護口には直等も実にを那側に際管の選(たぶんせい間)というという。 わたさしさを見せて日海洋船或口支店長中西線吉氏でむは夫人ヤス

低を委託することになった

に支那側部局に保管を委託される

十三名であるが、これらは婦人子

一種日七日同盟」在留非人全部の

支那當局に委託 日本租界の保管

|門司電話| 灰雲源 - 藤沢出線を 三百餘名

靑島方面の

初めてです、引張行は接急でし、人々と不安だつた郷地の解釋と批判のでは、明報行は接急では、大阪商業登山地で開来、出班への今回の奨に属美味悪いが開系は、大阪商業登山地で開来、出班への私は支加に求くさる「関係上ジス 七名は八日朝青齢から門部香港の私は支加に求くさる「関係上ジス」となると、大々と不安だった郷地の特徴とは、

上陸した人々の中には半島回動の

長沙、育昌のコースは停止しま | 同語で離戸総由於郷したが門前に船の前路は八月一日から承闓、 それん (優しい郷里へ、その他は船の前路は八月一日から承闿、 それん (優しい郷里へ、その他はたが満身でもあり好さんより一

上海丸で三百餘名長崎に着く

で語ってゐたのが人目を惹いた

婦女子十五名が祖つてをり無権か ら解放された概びを不自由在國語

『パターソンIIニュ

配した一質是楽と開始す ◇様 中南支方面の 日曜氣配 (八日)

抗日気分の強

演奏は一流樂團!

ゼンチン音楽の符/たる哀傷を認るアル

0

が 目光観点支 あるので前途の あるので前途の 、時局成行案 他の諸様も暴 他の諸様も暴

超は依然續

感よ高度の制限を斷行

79 N

集曲舞とンオシンカ

Aレコードは十枚特殊 レーベルを次数解析 四(ペリオモリ) 第三回 四(ペリオモリ) 第三回 四(ペリオモリ) 第三回 四(ペリオモリ) 第三回 和(教リネチェ) ※ 第二回 本章 和 一 一 四回 第三回 | 四回

ドーゴレアモムロコ

○米 四年人須旺徳に林宗の祖郷 会とたり発じ、田園門・宏郷作 に側込んで新安也を別してが順 近級の相場も、天候無念と突込 みの反側で回復形調となるも数 のの短側で回復形調となるも数 のの短りで開発した近日はなるので である、須田は三十二回十二級

はみ込申 ノ刻即

Columbia

たがルーズヴェー、改革案は直ち

退し機花・羊毛のストラクは相當 高金派の個人間限をなしても 風に上つてをり下半期において組 ルト大統領の理想は歪められた下 不穩ビラの 新聞賣子を引致

許可する場合にも製品の輸出され ることを主眼とする方針である、 整人制限の結果起るべき買が楽者 いて貿易及に開席産業同僚に関す と生産業者との間の限度温整につ 差支へなしと見てをり、 |形人一萬五千人感覚さる』との根|動をなすものは、ひ 和信即、丁子屋則および本町入口を多く質や記載であ の新聞園子の新聞園に『天津祖界』供したが、今後この 既報、七日午後九時ごろ京城釧路 セイショナルな文字を掲げて新聞

単純な動機からご判

3

総数徴食物について協助を行ふ割とうを銀げ、民衆を繋がせた単性 有代表を商工会に指数し政府の買 る法律の施行を急ぎ九月早々政行 つ製定である、一方近く関**添業**

も楽もないことを新太に大街した。虚する方針である

かしく、欧洲において、中では、大いの人の一般の不均な言

1休夏

 # 100
 ¥ 32,4

 # 200
 ¥ 60,6

 # 4
 ¥ 85,6

 # 300
 ¥ 105,6

 # 700
 ¥ 185,6

 以上各額
 # 11

 # 11
 ¥ 850,00
 平 32,00 平 60,00 平 85,00 平 105,00 Y 185,00

三町本城東

店器幣口山

何應欽、辭職の別說 る。或種の重要椅子が準備 /クイー

新任は支那側の郵時番割上の一進|はレヴァサン駅はイギリスに曳航 に向け出顔したが、交渉成立の上 は現在三萬五千朝主力整立場を建 される質である。イギリスが軍省

計蔵中更に同級五変の脳加建造を造中であるが、一九三八年度建造 表決を用ひず可決

米司法制度改革案

| 一個、北文語 | 日本後四十年 | 日本 日午後四時半飛行機で南京者、直一内外各方面に多大の動動を興へて 【国京七日同盟】四川の劉州は七 の節酸は本自要祭祀去されたゝめ

北支戦線書報(八日午後天津

れる、

然し一説によれば将介石

自重論が支那將校图を といふにあったといはれてこの

会行動を慎むべし 解低は支那側の節時登職上の一般にとり作能上不利であるから十一されてゐるとみてをり、何聽歌の

暖として注目されてゐる

晝夜兼行で 軍艦を建造

が如き行動をなすは現在の支那 患怖元費せる日本軍を刺戦す

反對と軟線するため自ら進んで資

【ロンドン七月同盟】イギリス政

酸物に要求するのではないかと云

米新驅逐艦進水

銀河七回世界教育領域は七日午後

といふ我國始めての豪華な國際情

「東京山話」內外代表三十五百名

の對日歌に動する部内外の深熱な 憤激せしめたと傳へら

と言はれてゐる。なに東方面の消一行で軍艦建造に當ってゐるが、鐵

を買し領政部長の職を去づたもの。所は意大な軍備記費に基言整夜策

戦でこらす高木部隊長、大桑部隊長、森山兵を掃蕩する皇軍戦士の勇姿(下)○○で作験)=(上)進行中の列車摩上より敵の敗殘

部隊長その他(支那駐屯軍檢閱濟)

《ワシントン七日設司監』アメリーもに同人を引致取講べた結果セン

國際教育會議終る

娘(二、の使嗾によること判明、直 町二一〇ノ三八八新聞辻竇業臭文 "』)を取澗へたところ、原城杏村ついて倒鉛署で新開資子尹淳匈

ショリンの はなの 1人 ・ はの はの はの 大御 ・ まりずルオ葉山 はの 大御

型型 ピアノ

¥5005

平台ピアノ

¥950+7

此名種

會長が主旗國を代表し會議にお し腕手中止の腕指を認あり最後に我が永田帝国教育 の立場から頭部と住谷國代表からそれよく総署回接 の立場から頭部と住 日の立場から競融と住脈に日本に對けの立場から競融と住脈に日本に對 投、アメリカ代表が風は世界平和せしのたことである、モンロー館 ◇流域主仁同記卍字政管は、去の五日より十一日までの整定で用日中間十年の計画学での発定でも同じて同政管験部十一名が削計網票に表す、午後からは減級に於て協成宣復、電源是久の新期を行ひつゝある。

大の牧種と云へやう

の 六目後からの薬剤により安発観測の 六日後からの薬剤により安発観型のため列戦不測となり大臓艇と監してめるが目下後間近ずに空能力を観力を発力を対したのでは、大きなのないのでは、大きなのないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないでは、大きないのでは、ためいのでは、大きないのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためのでは、ためでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、で

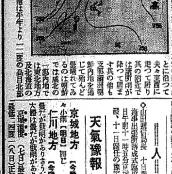
貞 華 4 加發城底陸城區等其外,

唇温神清調

IP.口拿 産 婆

| 「一方」 マグラ 「中方型」 「一方」 マグラ 「中方型型」 「中方型」 「中方型型」 「中方型」 「中方型型」 「中方型型」 「中方型型」 「中方型」 「中





議會後も當分解かね

閣僚禁元令

て最敬禮の後、川島書記述の郷ぐ く式を終つた

日の限しなにも参別せず

家な婆カタルのため六日來

「東京電話」正衛育用は信

外相が奉讀

よつて国立武教群は顕出外

る軽許器を押し

問題について寒塵を初めての打台、男艦に解棄の交易をなすことになまにおいて寒寒の歌節表態に対文、九日は寒寒は正十十ら開釈節事を返において寒寒の歌節を足能令に皆る肝かず、「昼水散脈を足能令に皆る肝かず、 せむ重けることになったが、時間ってある

は大量平年面です。
は大量平年面です

7

くし 多限

の陰き援助を離し、之に引殺き一本の正しき立風を各國に充分蒙畿として會議の放功と日本朝野一と上五五十年相等引撃によりると 東京電話】第七十一談題も八日

首相に代つて護田外相より服务の中の近南首相を除き各階低出席。 変成を首相官邸に揺き徴熱引部り正午より世界南京が成り、各省政府

特別議會閉院式

けふ、滯りなく舉行

補りなく開催式を學行したので近

政府委員を招待 **兩院誘員および**

所背相は何例により閉院式等了後一年後一時半政命した。 無法理に午餐を共にし **専用書事こかけて僭談をして高くなつて居り低級既は揚子江中へ日朝の天氣概況。 密懸は小笠原的近から東邦西部日**

おいて閉心式を撃行せられた、同一十分振跳を合闢になるに称列、正七日報期を完了したので春點複談、木、金光合南梁正副李長と下野衆中に1日報期を完了したので春點複談、木、金光合南梁正副李長と下野衆中に1日報期を完了したので春點複談、十分振跳を合闢になるに称列、正

麗田外相以下各層版 (近 兩首 天皇陛下には親羅あらせられ

十一時既田外角恭しく玉匠に向つ

一語書を押受し午後客時五分階のな

動語を奉寄し、ついで松平級長動 と述べ、諸眞最敬勝種に侵俗なる

ひます います。 で発展致しまするの光泉を何 に対令を奉じて阴院式の勅

閉院式勅語

◇山田選信局長・十日路任の豫定日午即十一時五分京城等並で出まず、一日路任の豫定と出る。十日単行の群山 人 和(九日)

(今晩) 大鹿は 門がありさらだ。 明がありさらだ。 明をありまらだ。 日)正午二七度入 【今既】愛り時 思 全年 利于機安5年分以上 京城份中學町一四 金 里 四 金 里 四 金 二十五八番

節人要 京城府水槽町 東口商會 布室者假壁湾特等本人面談府內保 和出身者內地人二名

は十月一日 日八月中旬一ヶ月**第** 日八月中旬一ヶ月**第** 武田直遊學報習會

無茶な鮮魚の暴騰に對し

釜山の

有力府議漸

取高價格 を設定

牛車暴る

水刑聴いて泣崩る

二人を倒し

のがあり内鮮人から衛文人気 赤滅迸る獻金 萬圓突破近 南軍事救護會の活躍を 質に物的つてをり、その意象すで の平然が何何に開想であるかを如 に東西を存んである 白系露人が 全道民舉つて支援 相顕し金百圓を駅並したいと申し

ラリオフさん(**)は五日清津暑に「なは新岩祠の金成和氏は四日二百 【浙津】洋服行筋の白糸啄人ジュ

ル氏の献金と好一點の楽談である 歓並した弱人マルクス・パインゲ 献金した席志家で、先日厳兵隊に

本店、元山、城市、龍原、吉州に出た、同氏に東京神田區豊島町に

院入 第 第 章

變院體

頭痛

たまらぬ

服

式 為鉄荷造機

電話本島是大三四七 で取店 湯 澤本語 店

分…二分…三分

もうキキメ あらはれた

世界ニ誇ル吾國唯 非常時ノ 登祉

店器樂井中

車隊ラツ

その爽快味……

頭の疲れはあどかたもない

頭痛はピッタリミまり

まてとに

とは このことてす

服明朗

樂器全般卸

効 主 簡を激しく使く近代人には必需要で置く使用されてデンノーは更に頭脳に発養と活力を興へますので面 各際店にあり

対策 重精神豪酷 質量 精神豪酷 質

りん病、こしけ

無効返金責任製

劑

<u>-</u>

ŝā

四 竹內洋行 內 與 藥 所

37-1191 (ON) A

織品車に對し際が機能

のため参拝、東ルを新邦して同七の世報と昭第、ついで頼祠に奉告

戦場の兵士に金は要られと

から義捐金

類は形成の配の途中、**酸配のた** め介地に装し同行した同里国住の 並洪川(三、が突然温森に魅って背

【興菌】 微顎の器線に目の咬んだ

物を語のネデキーポルト双動に油

に恐機後世には池南四朝野祭

●専門醫多田秀範先年天然堂診療部に於て無料診察す

別府市鶴水閩(離處莊)

然堂

素破

西原産婦

(電話電山

五番

宋水开始被表形而聚居宗州、雅州高石大香植而高 城上月村州 [1] 川山上 露山 超 城市 [2] 川山上 露山 報 城市 [2] 川山上 露山 報 河市鎮原郡 [2] 大野三文秀史良建了任 子于于于亚洲大学和邓阳都郡。政治郡多个平勒河

全国

新龍山三角地(八

方に限る保証化薬

に痛胃・ツミキ・けや胸

●治療トラノマキ進星

はく返金する

樂

危い鐵泥遂にお繩

【光州】四日午後七時精安郡石谷 **温盗に豹變** 介抱を装ひ

線路の止め鋲まで外して賣る

らも程度

総、析成を図の志想にも恥する職」しとの心説が有力者間に無頭する、地形させることは無償的には勿一所成の機能な要報と需要に晒すべ

甲守の圧戦杯王帝(ま)も哭き飛ば

中の田郷村王漢よらも実き派は「ね少なっこととて夫を載り置家に「「古州」中都別は長の戦闘でれて発聞し目下防軍風流で手籍「繰りたきにあまけかにもよる五月」「中後に勝から頭水で開電、れて発聞して大を載り置家に

事不省となり、ついで頭行中の金

こと結れしたが解文はまだ性知ら

一人を倒し
「傷邪」六日午即不時から地方法」水を大に飲め設費を除てたが来鉄
「常山」六日午後四時報が入新選 女の本夫信教术後事性が扱かれた。ことになったもので大本権制長の
関和通りで突然暴れ出し郷止せ ここで同次は本年四月女社所が扱かれた。ことになったもので大本権制長の
関和通りで突然暴れ出し郷止せ ここで同次は本年四月女社所が扱かれた。ことになったもので大本権制長の
とした同人に弱わなどうれて人。 ちれて同形の対象を受ける
「海州」六日午即不時から地方法。 水を大に飲め設費を除てたが来銭
「本人とした同人に弱わなどうれて人。」
「海州」六日午即不時から地方法。 水を大に飲め設費を除てたが来銭

る酸よべき結果になるので、平常一に至り、非常は節の特異な現象と

いふ一只士が平北の水密模概を開「行、朝御、役域を決定後望音を開「「曾長春寺存(郡守)▲朝曾【研嘉州】田粤部職の清水繁花と「『政定は七日午後五声専州和郷で郷」時報修した。外談は左の通り

平北の水害へ五圓

和人部のとことを表したが、 対別とこととなったが

常と新と同語で統十本国の教授なが、擬教の程度に昭和十年の大水 院田西上社の手により着を辿り で、本年十月中旬総工の歴史の 六千回をもつて去る六月起こ 【元山】有志士敦氏の新附金

軍事務官が來道、、水平状況の

連轉休止

知自では、五月午後一時から

祖有一明熙忠三品楼新成史稿(手

總會を別く

護に坂本寿芸州古長は悠徹して

第三區底曳

新義州府外麻田洞の慘狀

紙に五風を添くて黄義州署に

盟一致可決、同夜七時から科学

京報告▲組合総理の壁里▲事後五郎氏を推薦)▲十一年度員の選任(漁茶組合師事長加

危険な中の島下端洞住民を

新義州に避難さす

ラ船出動

に党し神鑑成は全身が殺りとなつて虚跡上に襲撃、震労通りは虚窮外から虚跡四へとは、七日年前六韓早くも低地がである前畿川府外縣田湖、盟神湖、佐平湖一帯を纏び

ため一般地を派配。更に祖参與官

通したが徐行を要する簡別多く當 白馬の鐵路は懸急修理を終へて開

忠南警官吳動

【宜川】水器のため不通となった

定州安東間

認能山行の二列車及び前川から北 分の間配川から南行の午前四時五

九分配後山行と午後五時十六分

料理と共に際、関連への禁縛に伴いて大田】思信候院教祭者長の養婦

行午前一時三分の最大行、午後等

義州道路は大混雑

配合長温長となり、左の職業を

品務所で定時級的と開催、関

活 / 日 活 / 日。活 / 日本活/

廣賴恒美、 高津 熨子

主演

はそも 何にして建設せられしぞである世界に燦三して輝く大満洲國曜を描いての下篇こそ眞の所策映講講家の天地を活舞&に総横無盡の所

大人学生30。 小学生20。

に大なるに愛き十分な数解を駆すから集る一日来の水液酸脱の熱外

【新義州】平北道地方派では各地

鄭忠源警視

平南に榮轉

道の見込み

十萬圓

事は終分の間定形変東国の速転を

省田貞吉 (建物素)

よつてはいつ空災、銃殺州との連 ないので町義州署ではプロペ 格をたくれ孤立にならねとも殴ら

坂州軍事

年度經費成為由加更生

後接聯盟

『子び呼んでくらだ』

ら、太郎兵衛の弟で、腓に家を持一やつとの事で、太郎兵商大婦と親

女房が村の道を際け出す向ふか「者が、途りたつ治三郎を帯め難してくいんでくるだ」 一般と開いて、所付けた村の有力

つてある。田田郎が、だれに関事を一類のものが三人、お禮のものが一

一人、平倍ひの衆七人、それだけで

いかよ、お削さん」

、ちンのおら、第を丈夫に持つ、

くれろ、なだ。お助さん一気けら

恐動をいひ出したので女房が、

悲歌と一緒に、くどくど、

とおら云つたのに、行くものだ。酸、取つてきてやらだ」

て良いか輔えねえ」(てみろ、大鰻荒わい、おら全年本んな事になつてはて、おら、一何をいふだい治三、そんな事し

厄で思い年到りだ、この上思いこでみろ、大観だわい、おら今年本

とが問いてみろ、おらが命無くず

危わえから、行くをやめるが良

人で行つて、卵の酸、甥ツ子の

だから云つただ、年間や子供に、あるだな、あれ出してくれ。おら

やつてくる、おやおさまの臨症が

一合的を、呼びにやつて相談して

家へ飛びこんで、

『あわサ、えらい事になった』呼いたか問ぐなって飛んできた。

「兄キ、えらい事になつだ!」

帯の間を見るなり太郎兵順は、

れて行かれた。

「おう街三か、おら今年が本記だ」

角面から配るを踏されずにるる。

の始起付けるだ上

近き路上級つて織めた、で、太・お削いやらねえなら、おら一人で近き路上級つて織めた、で、太・お削いやらねえなら、おら一人で

ふさまはお武士、どうなるものから

「さうでわえよ、武士も百姓も

日

がねえこつたと

長谷川

間め、老婆の頭を叩いた、西瓜を 清水の鐵 GB

れた如く倒わっと、影響は既に死績になって、折っと、影響は既に死績になって、折っ 叩くやらな音がして、老婆がもの一だらら、考へ違だぞ兄キ」

は老婆の長男で、四十二歳。 ――思いこと歌める紀か』 お助おらに太郎兵衛の梁へ賜いた、太郎兵衛 『何元、何だア治三、お助おらに から東にあたる山峡の砂水村のもるか、おらが行つてこようかに 不住合せな様と組集とは、鼠跡、う。位三お前が鼠跡へ行つてくれるひ思ひに、耐くなつて遂げた。一つて、録つてきてからで良いだら で、眞隣へ質物かたがた、祭史。「兄キよ、お問おらがいふ事が雑 配合せたものは、四方人方、お「『相談事なら、原岡へ別取りに行 この国権が、やがて、造水村の「知れてゐるだぜ」 しおえのか、殺した奴は名も認も

岩田專太碩畵 こくはお前、泣いてある時でねえ 「見き、これ兄手、死んだおッかりねといけね」 「兄キ、お助、位いてゐて濟むか、 選さまと作を死なしてしまふた。



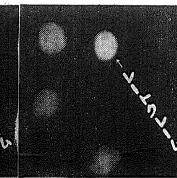


はに答贈御

下用利御を



(射用間分三) (はユーレクトーとり頭の低) ノく防を線外梁に単見)



(射照間分二)

(射照間分一)

るからだってすく

奥する若人に、唯一つ氣になる事は、お肌を思くする

雅芸に、サンイーと輝く陽を治びて、海に、山に、

日ヤケも手當てを間違ふと、永久にシミとなつて酸く

上篇の表を御覧下さい! 前枝の上に、各種のタリ

ミも解消して艶々と、生れ髪つた様に美しい若肌にします! 肌の新陳代謝を旺んにして、ニキビ、吹出物は勿論、 ひます。その様に、レートクレームは最後定費女のお さに置き、紫外線を肥射して難した、紫外線を防ぐ効果の比較表で ち襲るのです! 完全に紫外線を聴りますが、他のクリームは其の効果を失ってしま す。一分、二分、三分と時間が輕つても、レートク レートクレームは、日ヤケを防ぐ効果が優れて居る許りでなく、お レームは最後追 肌を日ヤケか 小ジワやタル

果がありますから、形、脂に崩れ易い夏化紅には、 お化納下には、自粉のツキ、持ちを素晴しく良く 飲かされぬ熟肌 (する見事な効

物ですべ

ヤケを防いでくれますから、飛気です。日ヤケの原内は、一般認なな 陽の紫外線、お肌に作用して、皮下にメラニンと云ふ色素を沈着さ せる結果起る現象ですが、レートクレームに含有されて居る行効成 所が、嬉しい事に、レートクレームの素晴らしい効果は、思性日 る日ヤケです。 夏、快味を満 ・一ムを同じな 残る事さへあ /る創を肌若たしと刺激

分は、此の紫外線を見事に防止するのですと

· 1 中語語笑

≡座 金 黄龗津

キゲカワ 国家

建日朝